



緩和ケア 推進コンソーシアム

Palliative Care Consortium

私たちは企業の枠を超えて、がんの痛み治療の普及と共に緩和ケアの推進に取り組んでいます。

すべてのがん患者さんとそのご家族が、様々なつらさから解放されるために、私たちができること。それは「がん患者さんやご家族のため」に企業の枠を超えて社会を動かす活動を展開することだと考えました。

私どもは2008年4月に、がんの痛み治療の普及・啓発を目的とした企業団体「がん性疼痛緩和推進コンソーシアム」を設立いたしました。2014年4月よりがんの痛み治療を含む「緩和ケア」の普及・啓発を目的とした「緩和ケア推進コンソーシアム」に名称を変更しました。

第2期がん対策推進基本計画で重点的に取り組むべき課題のひとつとなっている「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」は、2017年6月現在策定中の第3期がん対策推進基本計画においても分野別施策の「3.がんとの共生」の第一項目としてとりあげられる予定です。私どもはこの「がんと診断された時からの緩和ケア」の実現を目指して活動しています。

がんと診断された患者さんは、痛みや倦怠感などの様々な身体的な苦痛だけでなく、悲しみや落ち込みなどの精神的な苦痛を抱えておられ、そのご家族も同様の苦痛を抱えておられます。2016年12月に改正されたがん対策基本法の第17条がん患者の療養生活の質の維持向上の項目に「その家族の生活を含む」ことが明記されたことからそのことが伺えます。

2016年11月に厚生労働省が実施した「がん対策に関する世論調査」では、緩和ケアのことを「よく知っている」と回答された方は26.2%、緩和ケアを開始すべき時期について「がんと診断された時から」と回答された方は56.1%でした。このことから「緩和ケア」に対する情報がまだまだ不足しており、身体的、精神的苦痛に対するケアを十分に受けないまま、患者さんとそのご家族は苦しみに耐えながらがんと闘うというケースが少なからずあると思われます。この状況を変えるには「緩和ケア」の正しい情報を、がん患者さんとそのご家族を含め広く国民に知っていただくことが必要だと考えています。

私たちは産業界の立場から、積極的に「緩和ケア」の正しい情報を伝えることで「すべてのがん患者さんとそのご家族が身体的・精神的な苦痛、つらさから解放される」ことを目指すことを宣言いたします。



緩和ケア推進コンソーシアム会長

勝間田 将史

目的と活動

日本のがん患者さん、そのご家族および「がん」を患う可能性のある全ての方々に、緩和ケアに関する正しい情報を伝えることで、「すべての患者さんやそのご家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ること」の実現を目的とします。厚生労働省健康局がん・疾病対策課、日本緩和医療学会、国立がん研究センターなどの団体とも歩調を合わせ、産業界の立場から多くの方々に「緩和ケア」の正しい情報を伝えるための取り組みを行っています。

会費等

入会金：なし
年会費：年間40万円(10万円/3ヶ月、事務局経費として)
ワーキング・グループの活動内容、活動費用は総会にて決議

入会方法

下記、事務局までE-mailまたは電話にてご連絡ください。
入会申込書をお送りします。
入会申込書は、緩和ケア推進コンソーシアムのホームページからダウンロードできます。<http://www.toutu.jp/>
入会申込書に必要な事項をご記入の上、事務局まで郵送、FAX、E-mailにてご送付ください。

組織

会長：勝間田 将史(塩野義製薬株式会社)
幹事：兼本 恒治(塩野義製薬株式会社)
福櫻 征一(帝國製薬株式会社)
片倉 幸雄(ムンディファーマ株式会社)
会計監事：太田 喜就(帝國製薬株式会社)
事務局長：森岡 康峰(塩野義製薬株式会社)
企業名五十音順

参加企業

塩野義製薬株式会社
帝國製薬株式会社
ムンディファーマ株式会社
企業名五十音順

事務局(問い合わせ先)

緩和ケア推進コンソーシアム事務局 森岡 康峰
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号
シオノギ渋谷ビル5階(塩野義製薬株式会社内)
E-mail: yasumine.morioka@shionogi.co.jp
Tel: 03-3406-8116 FAX: 03-5466-6721
<http://www.toutu.jp/>



